

I はじめに

千葉県水道局は、平成28年に給水開始80周年を迎えました。この間、水道局では安全でおいしい水道水をお客様に24時間365日お届けできるよう努めてまいりました。

いつでも蛇口からおいしい水道水が出るようにするために、河川などから水を取り、安全でおいしく飲めるよう浄水処理をし、ポンプ等で水に圧力をかけ、お客様のもとへお届けする過程で電力などのエネルギーを消費し、環境へ負荷を与えています。豊かな地球環境を次世代に継承していくために、私たちは環境に配慮した水道事業を継続し、環境対策に取り組んでいかなければなりません。

そこで、千葉県水道局では水道水の安定的な供給という使命を損なうことなくエネルギーの消費削減や廃棄物の再資源化など、環境負荷の低減に資する取組を進めています。

各浄・給水場においては、省エネルギー型機器を導入しているほか、ちば野菊の里浄水場には太陽光パネルを設置し、幕張給水場、妙典給水場及び北船橋給水場には浄水場等から届く水の圧力を利用したマイクロ水力発電設備を設置し、得られた電力を場内照明などの自家消費に充てるなど、再生可能エネルギーの活用を進めています。

また、土地の高低差を利用し電力を使わずに水を送る工夫や水道管の漏水検査と修繕等の適切な維持管理によって送配水時のエネルギーロスの抑制にも努めています。

さらに、浄水発生土のような廃棄物等についても積極的に再資源化を進めるなど、様々な取組を通じて環境に優しい水道を目指しています。

本報告書は、私たちのこれまでの取組や実績をご理解いただくため、平成17年度から毎年度発刊しているものです。

作成に当たっては、水道事業と環境との関わりや環境保全の取組を写真や図で紹介するとともに、エネルギーの消費量や排出物の量、水質の状況、環境に関する法令遵守の状況、環境保全のコストや成果などについて記述し、第三者機関による客観的な審査と保証のもとに、分かりやすいものとなるよう心掛けました。

より多くの皆様にご活用いただけましたら幸いです。

これからも千葉県水道局は先達から受け継いだ高い技術力を継承し、安全でおいしい水道水を安定してお客様にお届けするとともに、豊かな地球環境を次世代に引き継げるよう、環境負荷低減に向けた取組を一層推進してまいります。

平成29年2月

千葉県水道局長 田谷 徹郎